



2019 ピレリスーパー耐久シリーズ 第4戦 TKUスーパー耐久 in オートポリス

今年のオートポリス戦は天候に恵まれず
台風も影響して終始不安定な天気となりました。

しかしそんな時こそ波乱の展開になりやすく、

ある意味耐久レースらしい展開も。

残念ながら今回はあまり芳しい結果では

ありませんでしたが、この悔しさを糧に

次戦も全力で挑みたいと思います。



998 Z-REX ADVICS R8 TRACY

ST1

予選結果 2位

決勝結果 優勝

A:Dr JEFFREY ZEE

B:Dr JASON ZHANG

C:Dr LEO YE



前々回のRd2 SUGO戦ではトラブルにより沈み、
24Hは当初から不参加の予定で
今回オートポリス戦ではやや久しぶりの参戦となった。

SUGO戦で発生したトラブルは払拭し、終始快調にラップを重ねる。
予選では先行を許す事となったが、決勝では
荒れるコンディションの中、安定した走りを見せる。

FCYやSCに翻弄される事もなく、終始優勝を目指し、淡々走り、
チェッカーを迎えた結果 無事今期2勝目となりました。
スピードと経験値を増やせたレースだった。

#38 ADVICS muta racing RC350 TWS

ST3

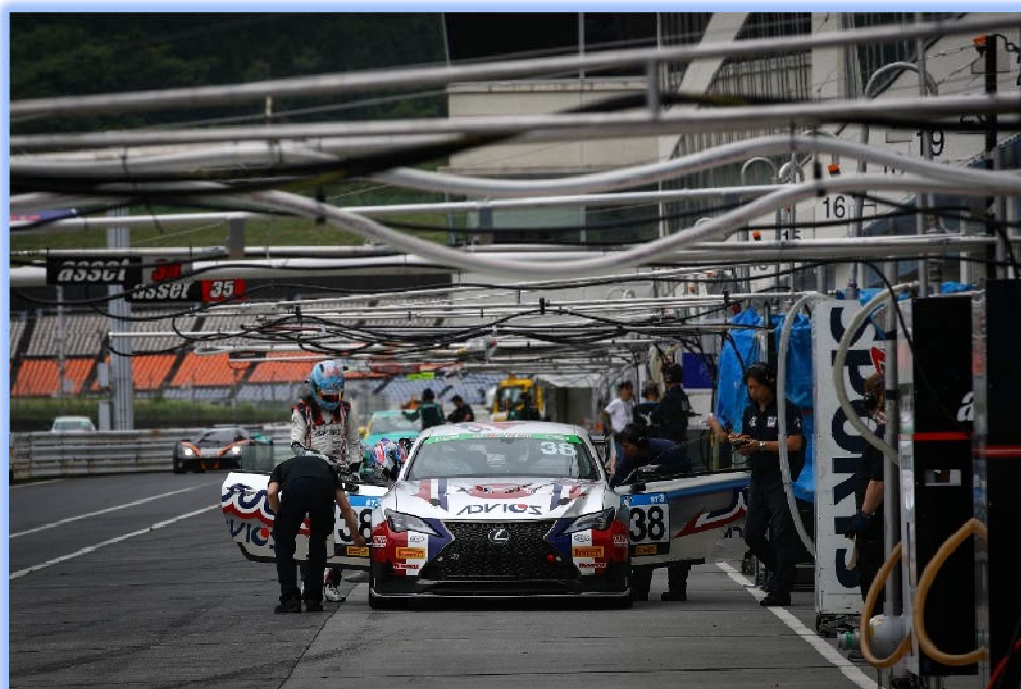
予選結果 出走せず

決勝結果 出走せず

A:Dr 堀田 誠

B:Dr 坂口 良平

C:Dr 堤 優威



今回は積み重なったウェイトも多く苦戦を強いられる覚悟でオートポリスに持ち込んだ。
木曜、金曜のフリープラクティスはまずまずの仕上がりでした。

金曜日にクラストップタイムを更新するスピードで走行中、前走車がライン上でスピン＆車両停止しイエローフラッグの確認をする間も無く当車両が激突。
幸い両者共ドライバーに大きな怪我はなく不幸中の幸いではあるが、現地での修復は不可能と判断せざる得なく、予選、決勝を待たずリタイヤという苦渋の決断となった。

次戦にはまた流れを取り戻し優勝を目指したいと思います。

39 5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY

ST3

予選結果 6位

決勝結果 4位

A:Dr 下垣 和也

B:Dr 大島 和也

C:Dr 近藤 説秀



今回は24時間以来大きな変更点なくオートポリスに持ち込む。

コースコンディションが右往左往する中、でも微調整のみで予選に挑む。

こういったシチュエーションでは刻々と変わる状況に振り回され

つつい車両のセットを見直したくなるが、

冷静な走行データの分析とエンジニア判断で大きく変更行わなかった。

予選では下垣選手がベストを更新するもライバル勢の貫禄の走りに

及ばず。大島選手は渾身の攻撃で4番手ながらもトップタイムから

0.1秒以内と混戦の中チームを驚かせた。

決勝の難しいコンディションの中ドライバーは懸命にコースに留まるも

軽い車、プロドライバー勢に及ばずリードを許すものの3名供

大きなミスなく走りきり、4位チェッカーと2ポジションアップでレースを終えた。

#41 TRACY SPORTS IS350

ST3

予選結果 7位

決勝結果 6位

A:Dr 兵頭 信一

B:Dr 伊藤 カズヒロ

C:Dr 石井 宏尚

D:Dr 鶴飼 龍太



昨年まで使用していたIS350でスポット参戦。
勝利を狙っていけるような体制ではないが、チームの空気感が良い。
それでも真剣に取り組み、試行錯誤を重ね、
1つでも前に出れるよう状況に応じて車を合わせていく。

予選での瞬発力は劣るものの、決勝では後方から食らい付いていく
レースを展開する。
しかし、他車との接触によりピットイン、多少修理に時間を要するも
コースに戻し無事完走。6位でポイント獲得となった。
スポット参戦ではありましたが、全員がやれる事を行ったレースでした。
こういった参加型のチームも大事にしていきたいと思えます。

#5 5ZIGEN ADVICS SPV 86

ST4

予選結果 10位

決勝結果 5位

A:Dr 山本 謙悟

B:Dr 三島 優輝

C:Dr 稲田 昌文



今回はドライバーにとってアウェイなコースとなり、
まずはコースを攻略するところから始まり、
プラクティスはとにかくラップを重ねる事に重点を置いた。

そこに流動的なコンディションとなったものの慎重にラップを刻む。

予選では一時的にドライとなりウェットでしか慣れてなかった為
10位と低迷したが、決勝は5時間。挽回できる余地は十分にある。

決勝では刻々と変わるコンディションの中山本選手、三島選手
両名とも大きなミス無く安定した走りを見せ、
5位入賞のポジションでチェッカーフラッグを受けた。



